

# 国際原子力機関 核査察実施部門での経験

2015年3月20日

日本原子力研究開発機構

核不拡散・核セキュリティ総合支援センター

福島廃炉措置技術開発センター

堀 啓一郎

# 自己紹介

- 1979年： MOX燃料施設の保障措置を担当
- 1985年-1989年： 日米原子力協定附属文書「保障措置コンセプト」の作成を担当
- 1989年-1993年： 仏からのPu返還輸送実施計画調整を担当
- 1990年代： 主にPu取扱施設の保障措置等を担当
- 2005年-2007年： 大学で国際保障学の講座を担当
- 2007年-2012年： IAEA保障措置局査察実施C部OC4課長
- 2012年-現在： 福島第一原子力発電所の溶融した炉心燃料の計量管理技術開発を担当

# 国際原子力機関の役割

- 目的

- 原子力の平和利用を通じて人類の平和と繁栄に貢献すること

- 任務

- 原子力の平和的利用のための研究、開発及び実用化の支援
- 原子力が軍事的目的を助長するような方法で利用されないことを確保するための保障措置の適用

保障措施

Safeguards

# IAEAの保障措置活動

- 約180カ国、約700の原子力施設と約600の施設外の場所に適用
- 約19万有意量 (SQ: Significant Quantity)の核物質を対象
- 年間約2000回の査察と約600回のその他の保障措置活動
- 延べ約1.2万人日の活動を査察実施A, B, Cの3部が実施
- 目的
  - 未申告原子力活動や核物質の検知
  - 核物質の未申告生産や処理の検知
  - 申告核物質からの転用の検知
- 査察の種類
  - 通常査察
  - 設計情報の検認
  - 補完的アクセス など

# 査察実施C部OC4課の体制

- 課長 1名 (Pスタッフ)
- シニア査察官 2名 (Pスタッフ)
- 査察官 10数名 (Pスタッフ)
  
- 査察データ処理担当 2名 (Gスタッフ)
- 公式文書担当 1名 (Gスタッフ)
- 庶務担当 1名 (Gスタッフ)
  
- 全体で20名前後

# 査察実施C部OC4課の査察実施国

- ベルギー
- オランダ
- スペイン
- スウェーデン
- フィンランド
- オーストリア
- ルクセンブルグ
- アイルランド
- ポルトガル
- ギリシャ
- デンマーク

# 査察実施C部OC4課の業務

- 個別査察の実施
  - 査察等の計画作成と準備
  - 査察実施
  - 査察結果の報告
  - 報告書の作成
- 実施計画等の作成
  - 年間査察計画の作成
  - 国別保障措置手法作成
  - 国別評価書の作成
- 保障措置課題への対応
  - 課題解決策の立案と実施
  - 新規施設の査察手法の開発
- 課長業務
  - 年間計画の作成
  - 重要課題への対応
  - 原子力施設との協議
  - 課の業務管理
  - 労務管理
  - 採用試験への参加 など



# IAEAで働くには

## 個人的経験から

- 知識と経験
  - 専門的知識
  - 実務経験
- 能力
  - 基本的に日本と同じ
  - コミュニケーション
- 語学・言葉
- その他
  - チャレンジする気持ち